

■リユース品について

現在、全体的にリユース品が不足しています。制服、大きいサイズの体操服(中学生、小学生)、黒、紺などのランドセル、鍵盤ハーモニカなどをお持ちいただくと助かります。

■小学校(しょうがっこう)、中学校(ちゅうがっこう)で使うものを渡(わた)せます。制服(せいふく)やランドセル、鍵盤(けんぱん)ハーモニカ、リコーダー、体操服(たいそうふく)があります。お金(かね)はいりません。ほしい人(ひと)は磐田国際交流協会(いわたICE)に取(と)りに来(き)てください。

■Entregas de materiais escolares do ensino fundamental (Shōgakkō, Chūgakkō).
Temos uniformes, mochilas escolares, piano de sopro, flauta e uniforme de educação física.
Os materiais são gratuitos.
Disponível na Associação de Intercâmbio Internacional de Iwata (ICE).
Os materiais serão entregues no balcão da ICE.

■会員募集

会員になって、いろいろな国の方と友だちになりませんか。

【年会費】

個人会員.....1,000円	家族会員.....2,000円
単体会員.....5,000円	賛助会員.....1口10,000円

【会員特典】

会報誌「いわたICE NEWS」をお届けします。
協会イベントや講座の情報をお知らせします。
当協会主催の講座やイベントの参加費を割引します。

■総会開催のお知らせ

2024年6月9日(日)に2024年度総会、会員同士の交流会を開催します。交流会では、クイズやゲームで会員同士の交流を深めます。時間や場所等、詳細が決まりましたら、facebook、HP等でお知らせします。



■通訳・翻訳

・学校での保護者と先生の面談での通訳
・企業内文書(就業規則等)の翻訳
・外国人向けチラシ作成
※その他、会社での日本語学習や生活のサポート
困ったときは、お気軽に(一社)磐田国際交流協会事務局までご連絡ください。

■賛助・団体会員の皆様(敬称略・50音順)

【賛助会員】
株式会社ITC、学校法人静岡理工科大学浜松日本語学院、ジ・オーシャン株式会社、太平洋工業株式会社、浜松磐田信用金庫、ヤマハ発動機ビズパートナー株式会社、株式会社ルマンオート
【団体会員】
磐田市自治会連合会、磐田市文化協会、一般社団法人磐田青年会議所、磐田ユネスコ協会、有限会社兼子鉄工所、国際ソロプチミスト磐田、静岡産業大学、JAAC日米学術センター、丸西機械株式会社、株式会社ライトハウスエデュケーション

あなたも日本語教師になりませんか?
(日本語教師養成講座)

詳しくはコチラをCHECK!


毎週土曜日 / 「オープンスクール 説明会&授業見学」 毎月開催。まずはお問い合わせを。

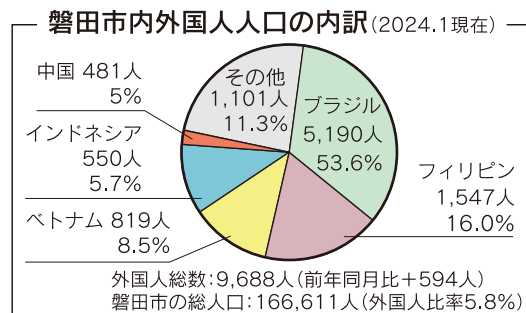
学校法人静岡理工科大学 浜松日本語学院
Hamamatsu Japan Language College
Tel. 053-450-6590
浜松市中区中央3-10-8
浜松日本語学院 (担当:鈴木/秋山)

ICE
一般社団法人 磐田国際交流協会
ホームページ: <https://www.iwataice.jp>
facebook: <https://www.facebook.com/iwataice>

〒438-0086 磐田市見付2989番地3 (ワークピア磐田1F) TEL・FAX: 0538-37-4988 (平日 9:00~17:30)

【英語の名言】 Just because you fail once doesn't mean you're gonna fail at everything.

「一度失敗したからといって、すべてが失敗に終わるわけじゃない」～マリリン・モンロー～



2023年 11月11日・12日
Lalaport さらぽーと 磐田

見えて、聞いて、触れて、味わう。さらぽーとで「世界」をつながる特別な一日を体験しよう!

～多様な文化の調和のとれた多文化共生の地域づくり～
Creating a diverse and harmonious multicultural community

2023

JICAによる多文化ファッションショー

日本語スピーチコンテスト

カポエイラ

ブラジルのダンス

琉球民謡

サンバ

インドネシアの踊り

南インド古典舞踊

空手演武

ららぽーと磐田の館内12カ所にて、磐田市、袋井市、掛川市の国際交流団体が連携し、インターナショナルフェスタを開催しました。来場者は、展示やマルシェ、キッチンカー、クイズラリーなどに参加して楽しみました。



マダガスカルゲームクバーラ

▲マダガスカルについて知るきっかけとなりました



世界の民族衣装を着てみよう！



キッチンカー



子ども絵画展 ～初めての…！～

磐田の未来を担う子どもたちが国籍を問わず教育が受けられるように

外国にルーツを持つ子どもたちを対象とした事業

磐田市内の公立小中学校では、700人前後の外国にルーツをもつ子どもが学んでいます（2023年5月現在）。数年前から多国籍化し、今後増えると予想されています。

- ・磐田市日本語教室 子どもクラス（小中学生対象）
- ・外国人児童生徒等学習支援事業（JSLサポート）
- ・放課後児童クラブ外国人児童生活支援事業
- ・リユース学用品、制服の提供
- ・各種相談（夜間中学の入学手続き支援他）
- ・いわた多文化子ども支援隊ミーティングへの参加、

「こんにちは！」と連携、保育園クレッシーどんぐりでの日本語支援、夜間中学との連携、ブラジル人学校キャリア形成支援事業協力など

外国人児童生徒等学習支援事業（JSLサポート）

JSLサポートは、2005年からボランティアによる試みとして始まりました。2023年度は、市内14の小中学校で活動しています。活動内容は以下の通りです。

教室での学習支援、生活支援

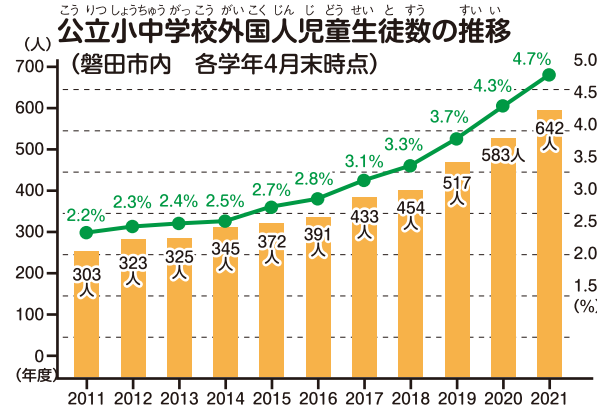
授業の中で子どもが分からない言葉を説明し、一緒に課題や問題に取り組みます。またその様子を先生に伝えます。

放課後児童クラブ外国人生活支援事業

放課後児童クラブでの生活支援

放課後児童クラブで過ごす中での困りごとを解決できるように声掛けします。友だちに伝えたいことがある際にどんな日本語で表現するか一緒に考えます。

どちらも子どもたちが日本語を習得し、自分で学ぶ力をつけていけるように、学校や先生と連携して行っています。



▲磐田市自治デザイン課 ダイバーシティ推進室 第4次磐田市多文化共生推進プランP7より抜粋



▲クレッシーどんぐりでの日本語活動の様子。絵本の読み聞かせや手遊びをして日本語に触れます。



◀JSLサポートの様子。教室などで側にいて、学習をサポートします。

磐田市日本語教室「あつまれ!にほんごひろば 西貝教室」

～西貝地区文化祭でインタビューしよう～

2023年11月5日(日)

「あつまれ!にほんごひろば 西貝教室」の学習者が、「西貝地区文化祭」に参加しました。当日は、学習者が書いた川柳と日本語学習用の本の展示をしました。そこで、ブースの来場者に学習者が話しかけ自己紹介、さらにインタビューをし、その内容を学習者が書き取るという活動も行いました。

最初は事前に用意したインタビュー内容を読み上げるだけでも精一杯でしたが、慣れてくると用紙にない内容も質問したり、逆に質問



▲真剣な様子でインタビューの準備をする学習者



▲川柳の展示。一般の来場者からも好評でした

されたことに答えたりと、普段の教室ではあまりできない経験をすることができました。活動終了後は、「知らない人と話すのは怖かった。」「知らない日本人と話すことができてよかった。」と感想を伝えてくれました。

磐田市日本語教室「あつまれ!にほんごひろば 竜洋教室」

～第3回新春 書道パフォーマンス!!に参加しよう～

2024年1月14日(日)

長野交流センターを会場にして、「書道パフォーマンス体験」を行いました。水色の富士山、太陽の絵、昇龍の文字などを描いた縦5m×横12mの紙の上に、竜洋教室の参加者が思いの言葉を書きました。

参加者からは、「楽しくてあつという間に時間がすぎました。」「（おやじ太鼓の皆さんによる）太鼓の演奏は、とても感動しました。」「磐田市長も来てくれて、とてもびっくりしました。」などの感想が寄せられました。



ニューイヤーパーティー

2024年2月11日(日)

4年ぶりに料理持ち寄りパーティーを開催しました！懐かしい顔、初めましての顔など8か国約90人の会員・市民が、各国の料理やデザートなどを食べながら交流しました。琉球民謡やウィンドアンサンブルの演奏に合わせて踊ったり、ビンゴや古今東西ゲーム、じゃんけん列車で盛り上がり、とても楽しい時間でした。顔を合わせることで、交流から地域の仲間へとつながっていきたくらいですね。



第2回 日本語支援者スキルアップ研修

2024年1月21日(日)

日本語教室の支援者の皆さんに「対話交流型ポルトガル語教室」で普段の日本語支援とは逆の、学習者の立場を体験してもらいました。「話し方が早すぎたり、与えられる情報量が多すぎたりするとわからない。」「支援者のはげましの声掛けで気持ちが変わることを感じた。」など、学習者が不安に思う気持ちや難しさを体験したり、支援者の親身なサポートを体験したりすることで多くの気づきを得ることができたようでした。

これから日本語教室で支援者としてどのようなサポートをしたら楽しんでもらえるのか、そして学習の継続につながるかを学び、ポルトガル語も楽しく学んだ研修になりました。

